

2026 年度 全日本中学生柔道形競技大会 要項

1. 趣旨

講道館柔道において「形」と「乱取」は、「文法」と「作文」に例えられるように、修行の両輪として一体をなすものである。「形」と「乱取」を修行することによって、勝負の理を体得し、修行の成果を実感しながら、柔道の奥義へと進むことができる。とりわけ「形」は、柔道技術の基本形態における攻防の原理を学ぶ、心身研磨の道である。

特に中学生世代においては、左右の形を正しく修得することが、動きに偏りのない柔道の基本動作の習得につながり、将来より高いレベルで乱取に取り組む際にも極めて有効な指導方法となる。

そのため本大会では、この年代の特性を踏まえ、取・受を固定しない形式を採用し、「形」を通じて安全で教育的な柔道の普及・振興を目的として、競技大会を開催する。

2. 主催

公益財団法人 全日本柔道連盟

3. 後援

公益財団法人 講道館

4. 協力

一般社団法人 全日本学生柔道連盟

5. 種目

- ①投の形（手技、腰技、足技のみ）
- ②固の形（抑込技のみ）
- ③柔の形（第一教のみ）

6. 参加申込み方法

- (1) 都道府県柔道連盟(協会)は、複数の出場希望組があった場合、出場組選考に関して以下のいずれかとする。

- ① 都道府県柔道連盟(協会)において、出場組を選出する。
- ② 大会主管事務局における抽選により、出場組を決定する。

都道府県柔道連盟(協会)は、**8月28日(金)まで**に出場希望組の情報を「大会出場希望組リスト(全柔連抽選用)」に記載のうえ、大会主管事務局に申し込みを行うこと。なお、①(都道府県柔道連盟・協会で選考する場合)については、「大会出場希望組リスト(全柔連抽選用)」の提出は不要とする。

大会主管事務局は出場組の抽選結果を、**9月4日(金)まで**に都道府県柔道連盟(協会)へ伝える。

- (2) (1)における①、②にいずれにおいても、出場者に関する情報を以下申し込みフォームを通じて、**10月15日(木)まで**に入力すること。不参加の場合でも、その旨を回答すること。

申込フォーム：<https://form.run/@promotion-Oz7zxrr1aKw9CsiWhndf>

- (3) 申込み後の取り消しがあった場合、都道府県柔道連盟(協会)は大会主管事務所にメールにて通知を行う。なお、動画アップロード期限である10月31日(土)までに正当な理由なく動画がアップロードされていない場合については失格とする。

7. スケジュール

2026年 8月28日(金)	大会主管事務局の抽選による出場組決定を希望する場合の申込締切 ※申込は「大会出場希望組リスト(全柔連抽選用)」を提出すること ※都道府県柔道連盟・協会で選考する場合は提出不要
2026年 9月4日(金)	大会主管事務局より全柔連の出場組抽選結果を通知
2026年10月15日(木)	エントリー締め切り
2026年10月16日(金)	大会主管事務局よりアップロードのリンク先を通知
2026年10月17日(土)～31日(土)	動画アップロード期間
2026年11月1日(日)	各形の審査順番の抽選
2026年11月3日(火)	大会主管事務局よりアップロード受信確認の連絡期限 ※大会主管事務局より連絡がない場合、必ず問い合わせをすること。
2026年11月6日(金)	参加申込料支払い期日
2026年11月21日(土)	審査(映像審査)
※2026年11月末を目途に大会結果を公表する。	

8. 出場資格

- (1) 2026年度の全日本柔道連盟登録を行っている中学生とする。
- (2) (選手の)所属団体が全日本柔道連盟登録をしている都道府県からの出場とする。
- (3) 所属先について、特に制限は設けない(中学校所属と柔道クラブ所属のペアでも出場可)。
- (4) 各都道府県から投の形、固の形、柔の形それぞれ1組の出場とし、一人が複数種目へ出場することは認めない。
- (5) 参加にあたり、段位の取得は問わない(白帯でも参加可)。
- (6) 男女組での参加も認める。

9. 競技方法

- (1) 「講道館柔道形競技規定」および「講道館形競技規定に関する申し合わせ事項」(別紙参照)を追加して実施する。
- (2) 本競技大会は、あらかじめ撮影された形動画を審査する「録画審査方式」にて実施する。
- (3) 本大会は、一組の各選手が取と受の両方をそれぞれ行うこととする。
「取(A)・受(B)」 「取(B)・受(A)」の2種類の演技を撮影し、両方の映像をアップロードする。
※参加各組につき、2つの動画(同一ペアによる取受を交代したもの)が必要となる。
- (4) 都道府県柔道連盟(協会)は、どちらの映像を予選・決勝で審査するかを選択し、アップロードのファイル名に記載をする。なお、予選では全ての「予選映像」を審査し予選順位を決定するが、決勝については決勝進出組(8組)の「決勝映像」のみを審査する。(予選9位以下については、「決勝映像」は審査しない)

(5) 映像アップロード（ファイル名・提出期限 等）

ア. 映像は、大会主管事務局がエントリー後に送付するリンク先へ期日までにアップロードすること。

その際、動画ファイル名は、「形の種目_都道府県識別番号_予選・決勝の識別_都道府県名」とする。

例) 投の形、青森県の場合：「投 02_予選_青森」と「投 02_決勝_青森」の 2 つ

イ. 映像のアップロード期日は、2026 年 10 月 17 日(土)～10 月 31 日(土)23:59 までとする。

ウ. ファイル名を変更する際、ファイルの拡張子（.mov .MOV .mp4 など）は削除しないこと。

エ. 「取受の識別」は、申込フォームの選手情報と必ず合わせること。

オ. 「都道府県識別番号」は以下を参照すること。

都道府県識別番号 一覧

都道府県名	都道府県 識別番号	都道府県名	都道府県 識別番号	都道府県名	都道府県 識別番号	都道府県名	都道府県 識別番号
北海道	01	神奈川県	13	滋賀県	25	徳島県	37
青森県	02	山梨県	14	京都府	26	愛媛県	38
岩手県	03	東京都	15	大阪府	27	高知県	39
宮城県	04	新潟県	16	兵庫県	28	福岡県	40
秋田県	05	長野県	17	奈良県	29	佐賀県	41
山形県	06	富山県	18	和歌山県	30	長崎県	42
福島県	07	石川県	19	鳥取県	31	熊本県	43
茨城県	08	福井県	20	島根県	32	大分県	44
栃木県	09	静岡県	21	岡山県	33	宮崎県	45
群馬県	10	愛知県	22	広島県	34	鹿児島県	46
埼玉県	11	岐阜県	23	山口県	35	沖縄県	47
千葉県	12	三重県	24	香川県	36		

カ. 1 つの映像は 5GB を超えない容量とする。

キ. 大会主管事務局では、映像のアップロードを確認でき次第、11 月 3 日（火）までにアップロード受信の連絡をする。アップロード後に上記日時までに大会主管事務局からアップロード受信の連絡がない場合は、大会主管事務局まで連絡すること。

連絡先：全日本柔道連盟 国際課 担当：蒲原・佐々木

メールアドレス：kata@judo.or.jp 電話番号：03-3818-5009

10. 参加申込み料

1 組 2,000 円を、都道府県柔道連盟(連合会、協会) が取りまとめ、11 月 6 日(金)までに下記口座へ振り込むこと。

振込先：三菱 UFJ 銀行 春日町支店 普通 0330969 公益財団法人全日本柔道連盟

11. 服装

柔道衣に関しては全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣、下穿、帯）を着用すること。

12. ゼッケン

下記の要領で背部にゼッケンを縫い付けること。

- (1) ゼッケンのサイズは縦 25～30 cm、横 30～35 cmとし、後襟から 5～10 cm下部に縫い付ける。
- (2) ゼッケンの上部 2/3 に苗字、下部 1/3 に団体名を表記する。
- (3) 書体は太いゴシック体、または明朝体で男子は黒色、女子は赤色とする。

13. 審査手順・順位決定方法

- (1) 11月1日（日）に主催者がコンピューターを用いて、各形の順番について抽選を行う。
- (2) 審査は11月21日（土）に行う。
- (3) 予選は、都道府県柔道連盟（連合会、協会）から申請のあった「予選映像」を審査、採点する。
- (4) 予選上位8組が決勝に進み、決勝では8組の映像審査（採点）のみを行う。
※決勝では、「決勝映像」を審査、採点する。
※予選9位以下の組については、「決勝映像」の採点は行わない。
- (5) 決勝に進出した8組の順位は、予選と決勝の合計得点によって決定する。合計点が同点となった場合、「講道館形競技規定に関する申し合わせ事項」にて順位を決定する

14. 表彰・結果の公表

- (1) 大会結果については、全日本柔道連盟ホームページに掲載する。
- (2) 各種目の上位8組（1位～8位）までを表彰する。
- (3) 入賞者への賞典発送は各都道府県柔道連盟(協会)事務局へ送ることとする。

16. 審査員

審査員は、全日本柔道連盟公認形審査員規程により、全日本柔道連盟 国際委員会 形部会が選考する。

17. 審査員会議

審査員会議を審査日当日に審査会場にて行う。

18. その他

- (1) 演技撮影時における怪我等に関して主催者は一切の責任を負わない。
- (2) 個人情報、肖像権の取り扱いについて
 - ・参加申込フォームに入力された個人情報、競技結果、大会中に撮影された写真、または動画等の映像が、大会プログラム、競技会場内外の掲示板等、全柔連ホームページに掲載される場合がある。
 - ・全柔連の許諾を受けたテレビ局等の企業により、試合を撮影した映像の中継・録画放送が、テレビ放映及びインターネット配信されることがある。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。
 - ・提出された映像は、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合がある。
 - ・提出された個人情報については、上記の利用目的以外に利用しない。
 - ・参加申込フォームへの回答により、個人情報、競技結果、肖像権についての上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

以上